1 残るものと変わるものを対照する

1 原文

« ce sera le même théâtre et les mêmes décorations,
ce ne seront plus les mêmes acteurs. »

La Bruyère, Les Caractères. Leçon 5, « Dans cent ans », p. 104.

2 レトリック

劇場と舞台装置は変わらず、役者だけが交代するという比喩で、世界の持続と人間のはかなさを対照しています。同じ未来を見渡し、「まだ続くこと」と「もはや同じではないこと」を並べる型にします。

3 作文の型

Dans X ans, A sera encore B, mais C ne sera plus D.

Xは年数、A・Cは主語、B・Dは状態や役割。主語に合わせて動詞を活用します。

4 練習問題

1. 教育：20年後も学校は学びの場だろうが、教師はもはや知識の唯一の源ではないだろう。

2. 仕事：10年後もこの会社はここにあるだろうが、私たちはもはや同僚ではないだろう。

5 ボキャブラリー・表現

1. un lieu d’apprentissage	学びの場
1. la seule source de savoir	知識の唯一の源
2. une entreprise / être collègues	会社 / 同僚である

6 フランス語解答例

1. Dans vingt ans, l’école sera encore un lieu d’apprentissage, mais les enseignants ne seront plus la seule source de savoir.

2. Dans dix ans, cette entreprise sera encore ici, mais nous ne serons plus collègues.

7 日本語訳

1. 20年後も学校は学びの場でしょうが、教師はもはや知識の唯一の源ではないでしょう。

2. 10年後もこの会社はここにあるでしょうが、私たちはもはや同僚ではないでしょう。

2 反語で信頼の根拠を問う

1 原文

« Quel fond à faire sur un personnage de comédie ! »

La Bruyère, Les Caractères. Leçon 6, « Dans cent ans », p. 110.

2 レトリック

世代が次々に交代する描写を受け、「芝居の登場人物など、どうして頼れようか」と反語的に締めくくります。古い言い回しを、頼れない理由を添えて相手に問いかける現代語の型に置き換えます。

3 作文の型

Comment peut-on compter sur A, si B ?

Aは頼る相手・対象、Bは直説法の文。問いの形で「頼るのは難しい」という判断を伝えます。

4 練習問題

1. 人間関係：約束を決して守らない人を、どうして頼りにできるのかと問う。

2. 科学技術：警告なしに動作が止まるシステムを、どうして頼りにできるのかと問う。

5 ボキャブラリー・表現

1. tenir ses promesses	約束を守る
1. ne jamais + verbe	決して～しない
2. cesser de fonctionner / sans prévenir	動作しなくなる / 予告・警告なしに

6 フランス語解答例

1. Comment peut-on compter sur une personne, si elle ne tient jamais ses promesses ?
2. Comment peut-on compter sur un système, s’il cesse de fonctionner sans prévenir ?

7 日本語訳

1. 約束を決して守らない人を、どうして頼りにできるでしょうか。
2. 警告なしに動作が止まるシステムを、どうして頼りにできるでしょうか。